

関係代名詞 <ページ7>

◆【目的格】の関係代名詞は《省略可能》。◆

そのままの意味です。つまり、こうです。

Lucy is a teacher **who** everyone likes. (ルーシーは皆が好きな先生です。)

This is a book **which** I bought yesterday. (これは私が昨日買った本です。)

A picture **which** he took in Yokohama was beautiful. (彼が横浜で撮った写真は美しかった。)

Lucy is a teacher everyone likes. (和訳同じ)

This is a book I bought yesterday. (和訳同じ)

A picture he took in Yokohama was beautiful. (和訳同じ)

} 目的格の関係代名詞は省略可能！なのです。

これらの英文、もしかして…と思った人。(^▽^)< 正解！ それ正解！（たぶん）

もしかして…と思った人も、思わなかった人も、今すぐ、『「修飾」という考え方』のプリントの

② 「接触節」を使う。 の項を振り返ってみてくださいな！

名詞 + 直後に「節」【主語+動詞(+その他)】 これね！ この形！

(・▽・)< I want a book Mr. Yamada wrote last year. これね♪

つまり、

目的格の関係代名詞が省略された「修飾」の文 = 接触節を使った「修飾」の文 なのです。(.)

◆さらに…◆

Lucy is a teacher (**who** is) liked by everyone. (ルーシーは皆に好かれている先生です。)

The boy (**who** is) standing under the tree is my brother.

(木の下に立っている少年は私の兄(弟)です。)

(主格の関係代名詞 + be 動詞) も、省略される場合があります。

省略してみると…

Lucy is a teacher liked by everyone. (和訳同じ) → 名詞 + 直後に過去分詞

The boy standing under the tree is my brother. (和訳同じ)

→ 名詞 + 直後に現在分詞(ing形)

これらは、『「修飾」という考え方』のプリントの

① 現在分詞・過去分詞を使う。 の項で学習した「修飾」の文 なのですね(≧▽≦)

- ◆ ということは…(まとめ) ◆
- ◆ 「修飾」の表し方のうち、「現在分詞・過去分詞」「接触節」を使う表し方は、 ◆
- ◆ 「関係代名詞」を使った表し方が元になっている と考えることもできるわけです。 ◆

バラバラだった「現在分詞・過去分詞での修飾」、「接触節での修飾」、「関係代名詞での修飾」が、ここで一気につながったかな？

(;▽;)< 「修飾」の形って！ つながってるんだ～！

と、感動の涙が流れている人！ すばらしい☆(笑)

その感動を大切に、さっそく問題練習に励んでくださいね♪